

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：健康増進対策費

事業名 健康長寿社会づくり推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 健康増進係 電話番号：058-272-1111(内3316)

E-mail : c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 28,157 千円 (前年度予算額： 28,534 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 源
前年度	28,534	0	0	0	0	0	0	0	28,534
要求額	28,157	0	0	0	0	0	0	0	28,157
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県民のための健康づくり事業、生きがいづくり事業等を行うため、(財)岐阜県教育文化財団へ人件費の補助を行う。

なお、本補助金は、平成22年度までは、旧(財)岐阜県健康長寿財団に対して交付されていたが、「行財政改革アクションプラン」に基づき、平成23年度より(財)岐阜県教育文化財団に統合され、機能と職員を移管することとなったため、平成23年度以降、(財)岐阜県教育文化財団に対し当該補助金を交付している。

(2) 事業内容

- 全国健康福祉祭(ねんりんピック)への岐阜県選手団派遣
- 結核予防及びがん予防普及啓発事業
- 複十字シール募金事業
- 健康運動普及啓発事業

(3) 県負担・補助率の考え方

県10／10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	28,157	15,284 紙料
		7,728 地域手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等
		3,993 健康保険、厚生年金、児童手当拠出金、労働保険料等
		1,152 退職手当積立金
合計	28,157	

決定額の考え方

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	健康長寿社会づくり推進事業
補助事業者（団体）	公益財団法人岐阜県教育文化財団 (理由) 事業目標を達成すべく団体を支援するため
補助事業の概要	<p>(目的) 県民の健康づくりの推進を図ることにより、人間中心のうるおいと安らぎのある生活を提供することを通じて、心身の健康と豊かさを実感できる「誇りあるふるさと」岐阜づくりを目指す。</p> <p>(内容) 県民のための健康づくり事業、生きがいづくり事業等を行うため、人件費の補助を行う。</p>
補助率・補助単価等	その他（人件費相当額）
補助効果	ねんりんピックへの選手派遣や疾病予防、健康づくりの普及啓発等、多方面から県民の健康・生きがいづくりを推進することができる。
終期の設定	終期令和8年度 (理由) 終期末設定で、事業開始から3年以上経過

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか
県民の健康づくりの推進を図ることにより、人間中心のうるおいと安らぎのある生活を提供することを通じて、心身の健康と豊かさを実感できる「誇りあるふるさと」岐阜づくりを目指す。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H6)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
① 健康づくりの推進を担う団体存続	1	1	1	1	1	100%

補助金交付実績 (単位:千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	26,952	27,808	29,129

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・第34回全国健康福祉祭(ねんりんピック)神奈川・横浜・川崎・相模原大会に岐阜県選手団を派遣した。 ・結核予防及びがん予防普及啓発事業として、パネルの展示、新聞広告掲載、普及啓発パンフレット配布等を行った。 ・複十字シール募金事業として、795,248円の募金を集めた。 ・健康運動普及啓発事業としての市町村及び学校・事業所等へ健康運動指導士の派遣は、新型コロナウイルス感染症の中で11回実施した。
	指標① 目標：1 実績： 1 達成率： 100 %
令和 5 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・第35回全国健康福祉祭(ねんりんピック)愛媛大会に岐阜県選手団を派遣した。 ・結核予防及びがん予防普及啓発事業として、パネルの展示、新聞広告掲載、普及啓発パンフレット配布等を行った。 ・複十字シール募金事業として、771,951円の募金を集めた。 ・健康運動普及啓発事業としての市町村及び学校・事業所等へ健康運動指導士の派遣は、3回実施した。
	指標① 目標：1 実績： 1 達成率： 100 %
令和 6 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・第36回全国健康福祉祭(ねんりんピック)鳥取大会に岐阜県選手団を派遣した。 ・結核予防及びがん予防普及啓発事業として、パネルの展示、新聞広告掲載、普及啓発パンフレット配布等を行った。 ・複十字シール募金事業として、708,275円の募金を集めた。 ・健康運動普及啓発事業としての市町村及び学校・事業所等へ健康運動指導士の派遣は、6回実施した。
	指標① 目標：1 実績： 1 達成率： 100 %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	今後、ますます高齢化が進展する中、これまで以上に県民の健康づくり、生きがいづくりを推進する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	疾病予防、健康づくりの普及啓発等、多方面から県民の健康・生きがいづくりを推進できた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	これまで継続して、県民の健康づくり、生きがいづくりを推進してきたため、そのノウハウを生かした効率的な取り組みを行う。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業目標を達成すべく団体を存続させるため人件費を補助する当該事業を継続する。	
(次年度の方向性)	

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 事業目標を達成すべく団体を存続させるため人件費を補助する当該事業を継続する。	
(次年度の方向性)	